

第 285 回都市懇サロン レポート

| | | | |
|----------------------------|--|---|--|
| <p>テ ー マ</p> | <p>水戸まちなかにおけるグリスロ運行実験 および都市交通に関する研究エトセトラ</p> | | |
| <p>講 師</p> | <p>茨城大学学術研究院応用理工学野 教授 平田 輝満 先生</p> | <p>開 催 日</p> | <p>令和 6 年 11 月 12 日(火) 18 : 00 ~ 20 : 00</p> |
| <p>講 師 プロフィール</p> | <p>2005 年東京工業大学大学院土木工学専攻博士 後期課程を修了。 日本学術振興会特別研究員、財団法人運輸政 策研究機構研究員を経て 2013 年より茨城大学 工学部准教授。2022 年より現職。 専門分野は土木計画学、交通工学で、特に空港 計画、物流システム、地域公共交通に関する研 究に従事。</p> |  <p>茨城大学 学術研究院応用理工学野 教授 平田光輝 先生</p> | |
| <p>お 話 の 概 要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県を対象とした自転車の活用促進のための空間整備、バス路線再編との関係、デマンド型交通の利用特性や運行効率向上策に関する研究紹介。 ・官民連携のエリアプラットフォーム「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」で 2022 年度実施したグリスロは、中心市街地の中の約 20 分の周回ルートで拠点駅に接続せずにまちなかの回遊に特化したまちなかグリスロ実証実験(TOCOTOCO) ・大幅な遅延もなく、約 30%が試し乗り以外の乗車目的と目的意識を持った乗車が目立った。またコミュニケーションツールとしてのグリスロの価値は一定程度確認することができた。 ・持続的なサービスとするためには導入目的を明確にし、運営体制と収益構造を考え地域のサポーターを増やしていくことが求められる。 | | |
| <p>意 見 交 換 の 概 要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルキャピタル効果の伝え方 →富山市における医療費の定量評価等は明確、幸福度の指標は様々。 ・水戸の実験では裏道運行でしたが、一般車両の追い抜きや事故防止等の対策措置について →バッシング等もなく顕在化しなかった。ドライブレコーダー取り付け程度で特段対策は施していない。 ・高速のモビリティからグリスロに移行した方の有無 →タクシー、送迎車利用の数名の方々が移行された。 ・連携、協賛、スキームについて →地域店舗への実証実験後のヒアリングでは、グリスロ利用者の新規顧客もあり、協賛の可能性を有する。 | | |
| <p>記 録 者 の ひ と こ と</p> | <p>グリスロ利用者アンケートにおいては「満足度」「支払い意思額」「まちなか店舗への興味関心」が想定より高く実現性は高いと思料。当活動に精力的に取り組まれていた学生に向けた高齢者のお手紙は新しい人との交流が生まれ感慨深いものがあった。</p> <p>≪都市懇サロン運営部会 委員 兼松正幸≫</p> | | |

☆☆ 都市懇サロン レポート作成のお願い ☆☆

○文字： 10.5ポイント MSゴシック
でお願いします。

○講師のプロフィール、写真は協会にて作成します。

※協会にて事前に講師プロフィール・写真を挿入したデータを、筆記担当者あてメールにて送信いたします。

○お話の概要並びに意見交換の概要の内容配分は、変更してもかまいません。
(ただし、A4サイズ 1枚に収まるようにお願いします。)

お話の概要・・・・・・・・必要に応じて、詳細な内容については、**別紙として**講師の用意した資料、パワーポイント等を(講師の許可を得て)掲載してもかまいません。

○協会への提出時期

おおむね、1ヶ月ぐらいで協会へデータをメールにて送信ください。

《問い合わせ先》

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-18 ハイツニュー平河 3F
一般社団法人都市計画コンサルタント協会 事務局
TEL : 03-3261-6058 FAX : 186-03-3261-5082
E-Mail : info@toshicon.or.jp 事務局 : 石塚